

美 特 第 1035 号
令和 8 年 9 月 1 日

関係中学校長 殿
特別支援学校長 殿

沖縄県立美咲特別支援学校
校長 赤嶺 信吾
(公印省略)

美咲特別支援学校区域の出願希望者が他の区域の知的障害を対象とする
特別支援学校に出願できることについて（依頼）

平素より本校の教育に御理解と御支援・御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和 9 年度沖縄県立特別支援学校入学者選抜実施要項（沖縄県教育委員会）において「中頭学区のうち、美咲特別支援学校及びはなさき支援学校の区域については、当分の間通学区の規則に関わらず他の区域の知的障害を対象とする特別支援学校に出願することができる」ことが周知されました。

つきましては、他区域への志願を検討されている場合は、令和 8 年 7 月 3 日付美咲特第 723 号において依頼し、提出を求めました本校入学志願者の志願前相談実施についての申込み様式に加えて、下記の様式の提出をお願い申し上げます。

なお、他区域の特支校での志願前相談は、県立学校教育課から許可を受けた生徒のみとなりますことを御承知おき下さい。

記

- 1 提出様式 追加様式「他区域の特支校へ出願できる」ことを踏まえた志願希望について
- 2 提出方法 FAX（各学校単位で提出をお願いします。保護者単独での提出はできません。）
- 3 申込期限 令和 8 年 9 月 18 日（金）
- 4 そ の 他 (1) 説明資料：『追加様式「他区域の特支校へ志願できる」ことを踏まえた出願希望について』も参照の上検討をお願いします。
(2) 他区域の特支校へ志願を希望しない生徒については提出不要です。

【問い合わせ】 沖縄県立美咲特別支援学校 高等部 入試担当 比嘉 麗 前田 光 TEL： 098-938-1037 FAX：098-938-7700

FAX送信票そのⅠ

令和８年度 美咲特別支援学校高等部入学志願前相談 追加様式
～「他区域の特支校へ出願できる」ことを踏まえた志願希望について～

- 1 他区域の知的障害を対象とする特別支援学校（他区域の特支校）へ志願を検討している生徒のみ提出する様式です。
- 2 他区域の特支校へ志願を希望しない生徒については、提出不要です。
- 3 美咲特別支援学校高等部への提出メ切りは令和８年９月１８日(金)です。中学校担当者が提出してください。
- 4 この様式を提出した時点では、他区域の特支校へ志願できるかどうかは未定です。
- 5 美咲特別支援学校高等部での志願前相談の後に、どの学校へ志願するかを決めることができます。

美咲特別支援学校 高等部 担当 比嘉麗 宛 〒904-2153 TEL 098-938-1037 FAX 098-938-7700

令和 年 月 日

学校名 _____

TEL _____ FAX _____

送信者名（職名） _____

本人・保護者記入欄

現在の学校名及び（在籍学級） ※特支学級の場合種別も記入	
担当教諭名（ふりがな）	
生徒氏名（ふりがな）※自筆	
保護者等氏名（ふりがな）（続柄）	
住所	
志願を検討している他区域の特支校	

確認事項と希望について

チェック欄	確認事項：チェック欄に○をつけて下さい。
	確認事項① 保護者は、生徒の緊急時等の迎えに対応できます。
	確認事項② 生徒は公共交通機関等を利用しての自力通学が可能で、自主行動ができます。
	確認事項③ 生徒の寄宿舍の利用には人数制限があることを理解しています。
	現時点での希望：当てはまる項目のチェック欄に○をつけて下さい
	寄宿舍を利用せずに、他区域の特支校へ志願を希望する（自宅からの通学が可能）。
	高等部３年間全て寄宿舍を利用することができれば、志願を希望する。
	少なくとも高等部２年間は寄宿舍を利用することができれば、志願を希望する。
	少なくとも高等部１年間は寄宿舍を利用することができれば、志願を希望する。
	できれば寄宿舍を利用したいが、利用できなくても志願を希望する。

FAX送信票その2

※FAX 送信票その1では記入欄が小さいので送信票その2を利用します。

※FAX 送信票その1も添えて送付します。

本人・保護者記入欄

現在の学校名及び（在籍学級） ※特支学級の場合種別も記入	
担当教諭名（ふりがな）	
生徒氏名（ふりがな）※自筆	
保護者等氏名(ふりがな)(続柄) ※自筆	
住所	
志願を検討している他区域の特支校	

確認事項と希望について

らん チェック欄	かくにんじこう 確認事項：チェック欄に○をつけて下さい。
	かくにんじこう ほごしゃ せいと きんきゅうじどう おかえ たいおう 確認事項①保護者は、生徒の緊急時等の迎えに対応できます。
	かくにんじこう せいと こうきょうこうつうきかんとく りよう じりきつうがく かのう じしゅこうどう 確認事項②生徒は公共交通機関等を利用しての自力通学が可能で、自主行動ができます。
	かくにんじこう せいと きしゅくしゃ りよう にんずうせいげん りかい 確認事項③生徒の寄宿舎の利用には人数制限があることを理解しています。
	げんじてん きぼう こうもく らん 現時点での希望：当てはまる項目のチェック欄に○をつけて下さい
	きしゅくしゃ りよう ほかくいき とくしこう しがん きぼう じたく つうがく かのう 寄宿舎を利用せずに、他区域の特支校へ志願を希望する（自宅からの通学が可能）。
	こうとうぶねんかん す べきしゅくしゃ りよう しがん きぼう 高等部3年間全て寄宿舎を利用することができれば、志願を希望する。
	すく こうとうぶねんかん きしゅくしゃ りよう しがん きぼう 少なくとも高等部2年間は寄宿舎を利用することができれば、志願を希望する。
	すく こうとうぶねんかん きしゅくしゃ りよう しがん きぼう 少なくとも高等部1年間は寄宿舎を利用することができれば、志願を希望する。
	きしゅくしゃ りよう しがん きぼう できれば寄宿舎を利用したいが、利用できなくても志願を希望する。

【説明資料：追加様式「他区域の特支校へ出願できる」ことを踏まえた志願希望について】

みさきとくべつしえんがっこう しえんがっこう くいき しゅつがんきぼうしゃ た くいき ちてきしょうがい たいしょう
美咲特別支援学校・はなさき支援学校の区域の出願希望者が他の区域の知的障害を対象とする
とくべつしえんがっこう た く い き とくしこう しがん きぼう
特別支援学校（他区域の特支校）に志願を希望できることについて

1 説明

(1) 美咲特別支援学校、はなさき支援学校の2校が対象です。

(2) これまで通り、美咲特別支援学校・はなさき支援学校へも出願できます。

(3) 「学区内の美咲特別支援学校・はなさき支援学校」と「他の区域の知的障害
を対象とする特別支援学校」の両方に出願することはできません。出願でき
る学校は1校です。

2 他区域の特支校に志願を希望するために必要なこと

以下の3点を理解して志願を希望して下さい。

確認事項① 保護者は、生徒の緊急時等の迎えにも対応できます。

確認事項② 生徒は、公共交通機関等を利用しての自主通学ができます。

※自主通学が可能ならば普段は保護者送迎でもかまいません。

確認事項③ 生徒の寄宿舎の利用には人数制限があることを理解しています。

美咲特別支援学校またははなさき支援学校で志願前相談を行った後に、実際に出願できるかどうか
を県教育委員会で決定し、本人・保護者・中学校にお知らせします。

3 志願を希望できる他区域の特支校

- ① 名護特別支援学校（寄宿舎あり）
- ② 大平特別支援学校（寄宿舎あり）
- ③ 那覇みらい支援学校
- ④ 島尻特別支援学校（寄宿舎あり）
- ⑤ 西崎特別支援学校
- ⑥ 宮古特別支援学校（寄宿舎あり）※宮古島です
- ⑦ 八重山特別支援学校（寄宿舎あり）※石垣島です

※離島の特支校を希望する場合は宮古島や石垣島の各島内に保証人が必要です。

4 他区域の特支校の寄宿舍について

他区域の寄宿舍のある特別支援学校を希望する場合、寄宿舍利用を希望することができます（人数制限あり）。

- ① 名護特別支援学校（寄宿舍あり）
- ② 大平特別支援学校（寄宿舍あり）
- ④ 島尻特別支援学校（寄宿舍あり）
- ⑥ 宮古特別支援学校（寄宿舍あり）※宮古島です
- ⑦ 八重山特別支援学校（寄宿舍あり）※石垣島です

※離島の特支校を希望する場合は宮古島や石垣島の各島内に緊急時等に対応できる保証人が必要です。

5 寄宿舍の概要

特別支援学校の寄宿舍についての大まかな説明です。詳しくは他区域の寄宿舍のある特別支援学校での志願前相談でご確認下さい。

(1) どのような生活を送りますか？

おおよそ以下のような日課で過ごします。

時間	日課
6：30	起床・洗面・着替え・寝具の片付け・検温
7：00	食事準備・手洗い・食事・おかわり・服薬
8：00	片付け・歯磨き
8：30	登校
15：30	下校
17：20	夕食準備・手洗い・夕食・おかわり・服薬・片付け
18：20	歯磨き・清掃
18：40	日課（入浴・洗濯・掃除）
	余暇活動・自主学習（運動場・体育館・図書館・部屋）
	寄宿舍行事（誕生会・集会・学習会(マナー・心と体など)
20：25	夜のミーティング
21：00	検温、服薬、就寝準備
21：30	消灯

(2) 寄宿舎ではどれくらいの数の児童生徒が過ごしていますか？

およそ25～40名の児童生徒が過ごしています。基本的に小学校5年生～高等部3年生の児童生徒が過ごしています。

(3) 寄宿舎はどのようなつくりですか？

男子部屋、女子部屋があります。一部屋2～3名で過ごします。

お風呂は部屋にはついておらず、大浴場があります。

部屋の他に食堂、多目的ホールなどの共有スペースもあります。

(4) 寄宿舎での行事や学習の機会はありますか？

夏フェスタ、おたのしみ会、お別れ会、誕生会など、生徒が楽しく寄宿舎生活を送れるよう、様々な行事が計画されています。学習面では心と体の学習会や食事マナーの学習会があります。また、自室で宿題や各種検定取得に向けて学習する生徒もいます。

(5) 土日や夏休み・冬休みも泊まりますか？

夏季休業や冬季休業などの長期休業日、土日、公休日の前日は帰宅日となっています。基本的に学校が休みのときは寄宿舎も休みになりますが、学校によっては、必要に応じ土日も寄宿舎を開舎する場合があります。

(6) 病気になった場合どうなりますか？

発熱（およそ37度5分を目安とする）や、体調不良が見られた際は、健康保持のために帰省します。

(7) お金はどれくらいかかりますか

1年間で36000円～40000円（月あたり3000円～3400円）程度の寄宿舎費を収めていただいています。寄宿舎費は行事や生徒が共通で使用する物の購入に用います。

また、別途1日当たり700円程度（朝食250円＋夕食450円）の食費を収めていただいています。食費は就学奨励費の支給の対象となっておりません。